

参考資料

府中市立学校（標準規模超）からのアンケート結果

<標準規模超の学校におけるメリット・デメリット>

1. 小学校

(1) 子どもの視点

a. メリット

- ・大人数の中で多様な考えに触れ、磨かれていく。
- ・学校全体に活気がある。

b. デメリット

- ・校外学習での活動時間が減る。(集合写真などに時間がかかり、活動時間が削られてしまう。)
- ・社会科見学や遠足での行き先が限られる。人数が多いため、受け入れてもらえない場所が多い。
- ・学芸会等での一人ひとりの役割が少ない。

(2) 教員の視点

a. メリット

- ・子どもたちを担任単位だけでなく、学年単位で見ることができる。教員同士で協力し合える。
- ・行事等に対しての工夫やアイデアが様々出る。
- ・人材が多いので、ベテラン教員等からのフォローも手厚く、若手が育ちやすい。
- ・児童の人間関係等を考慮してクラス配置を決めることができる。

b. デメリット

- ・朝会の集合・解散などで時間がかかり、授業の開始時間に間に合わないことがある。
- ・空き教室やスペース（物品の保管場所など）の確保が難しい。
- ・教室数が限られることから時間割を作るにも容易ではない。予備の枠が取れない。

- ・人数と施設規模（体育館・校庭など）が合っていないため、活動に制限が生まれる。行事の順延による施設の確保が難しい。
- ・人材が多く、他の教員に助けてもらえる環境だが、反面、経験の機会が少なくなる。

2. 中学校

(1) 子どもの視点

a. メリット

- ・学校全体に活気がある。
- ・多様な集団形成ができる。

b. デメリット

- ・部活動に制限がある。（校庭を各部活ローテーションで使用をしたり、中庭を使用している。）
- ・多様な集団形成ができる一方で、トラブルも多い。集団同士のぶつかり合いなども起きる。
- ・人数が多いことで、情緒に不安のある生徒は順応に時間がかかる。

(2) 教員の視点

a. メリット

- ・人数が多いため、行事の準備等がしやすい。
- ・研修やOJTなどの指導が手厚い。

b. デメリット

- ・教室が足りない。（少人数授業の教室や会議、生徒を対応する別室、PTAの集まりなどを行う部屋が確保できない。）
- ・職員が職員室に入りきらない。
- ・体育館に生徒が入りきらないため、入学式は1年生と3年生、卒業式は2年生と3年生のみの出席で対応するなど、出席者が限定的となってしまう。
- ・修学旅行の宿が限定される。